

授業科目

基礎老年学

担当教員名 勝平 純司	対象学年	2	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		○	○	

授業の概要

個々の高齢者の生活機能に適した福祉用具を選定するために、高齢者の運動機能、感覚機能、精神機能、特有の疾患、高齢者総合機能評価、介護レベルについて講義を行う。

授業の目的

個々の高齢者の生活機能に適した福祉用具を選定するために、高齢者の運動機能、感覚機能、精神機能、特有の疾患、高齢者総合機能評価、介護レベルについて理解する。

学習目標

1. 本科目の概要と学習目標、成績に関わる評価方法について理解している。
2. 日本の高齢者の疫学的人口動態について説明できる。
3. 高齢者の運動機能、感覚機能、精神機能等について理解している。
4. 高齢者特有の疾患について知っている。
5. 高齢者総合的機能評価について知っている。
6. 高齢者の介護レベルを理解している。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス、高齢者の概要(疫学)	講義	勝平 純司
2	老化と老年病(運動機能の加齢変化)	講義	勝平 純司
3	老化と老年病(感覚機能の加齢変化)	講義	勝平 純司
4	老化と老年病(精神機能の加齢変化)	講義	勝平 純司
5	高齢者の疾患 1	講義	勝平 純司
6	高齢者の疾患 2	講義	勝平 純司
7	高齢者総合的機能評価	講義	勝平 純司
8	高齢者の介護レベル(介護認定)・まとめ	講義	勝平 純司

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	老年学テキスト	編集：飯島節/鳥羽研二	南江堂	2013年	4,200円+税	ISBN 978-4-524-24021-0
参考書	高齢者の生活機能の総合的評価	鳥羽研二	新興医学出版社	2010年	4,200円	
その他の資料						

評価方法

最終筆記試験70%、小テスト20%、レポート10%とする。

履修上の留意点

※原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-3点、遅刻1回につき-1点、遅刻2回につき-3点を、最終評価から減点する。

オフィスアワー・連絡先

研究室：L310

連絡先：katsuhira@nuhw.ac.jp

授業に関する質問等の連絡先については授業開始時に履修者にお知らせします。